

8/22 力作共演で相乗効果

旧境野小学校の空き教室に工房を構える作家たちが、日頃の創作活動の成果を披露する「手作りコラボ展」が8月22日から3日間、同校舎で開催されました。会場には、キルトやガラス、木工作品などジャンルの違う作品群が絶妙にレイアウトされ、それぞれの作品が持つ魅力を互いに引き立てていました。一部作品は販売も行われ、手作りならではのものとして来場者に喜ばれていました。



8/28 いのちを守るために

北見地区老人クラブブロック研修会が8月28日、中央公民館で開かれ、北見、訓子府、置戸の1市2町から約220人が参加しました。午前の部では、日赤看護大の尾山とし子教授が「いのちを守るために必要な災害の知識」と題して講演。「災害時に必要なのは知識より知恵、そして適応能力」と訴えると、広島で大規模な土砂災害が発生したばかりとあって参加者は真剣に聞き入っていました。



8/31 土砂災害想定し防災訓練

北海道オホーツク総合振興局は8月31日、置戸町内で大雨による土砂災害を想定した防災訓練を実施しました。今回の訓練は、土砂災害警戒区域に指定されている西町地区に町が避難勧告を発令した想定で行われ、町の職員や警察、住民などおよそ60人が参加。町が広報車で巡回し避難を呼びかけると、対象地区の住民は指定避難場所の中央公民館へ足早に向かっていました。



9/4 楽しかったね、人形劇

町教育委員会主催の幼児芸術鑑賞事業「人形劇団ポポロ」公演が9月4日、こどもセンターどんぐりで開催されました。この日は、歌や音楽にあわせて人形たちが楽しく動く『ポエムポエム』と、童話『三びきのやぎのガラガラドン』の2作品が上演されました。終了後には、トロールやガラガラドンとの握手会も行われ、園児たちは人形劇の世界にすっかり引き込まれていました。

